

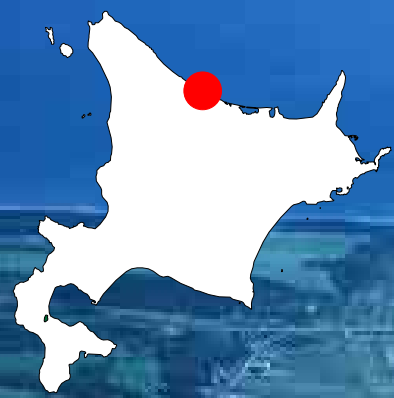
興部町におけるTMRセンターの 運営と地域振興



興部町農業協同組合

営農課 田中義人

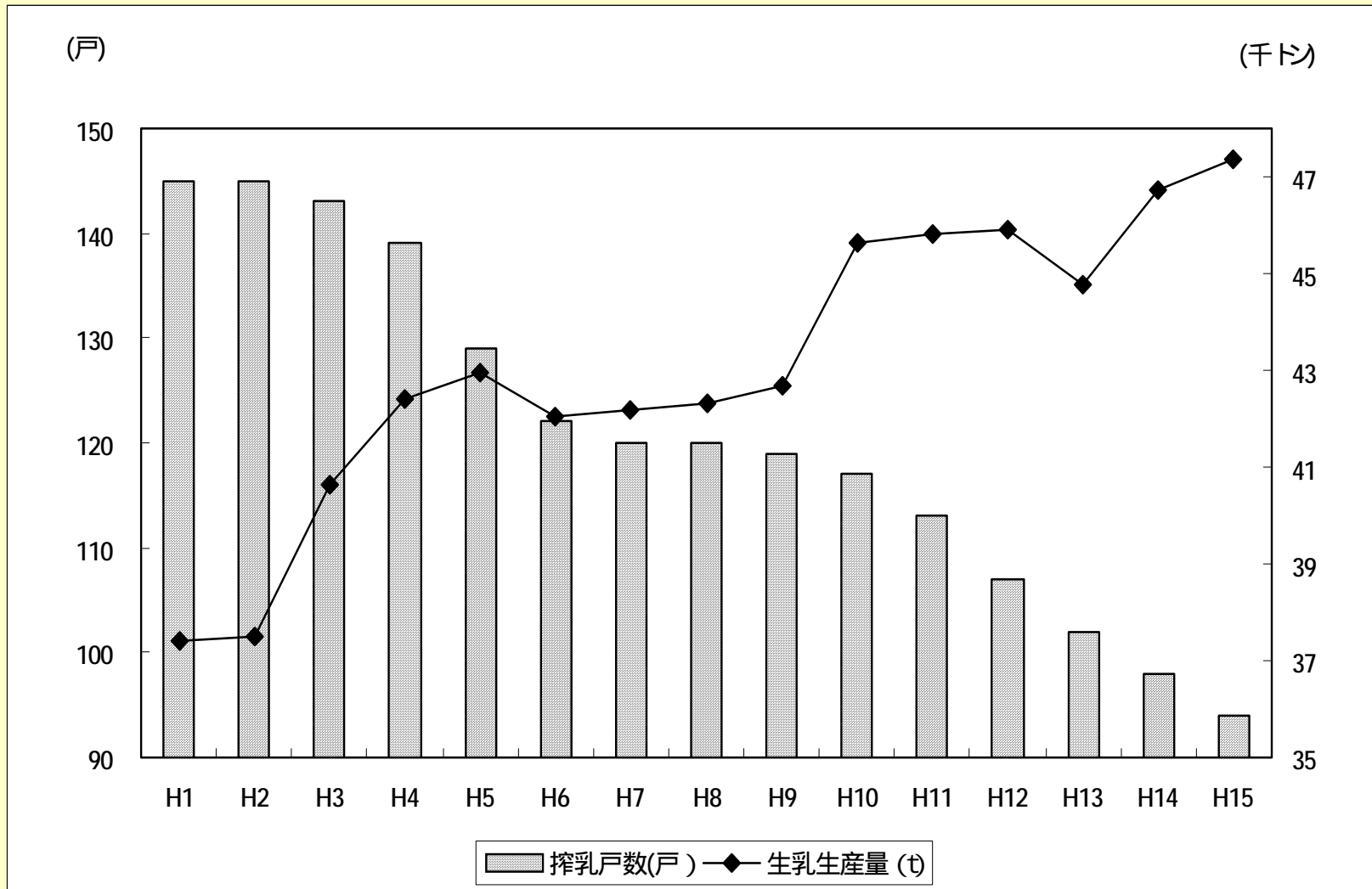
興部町



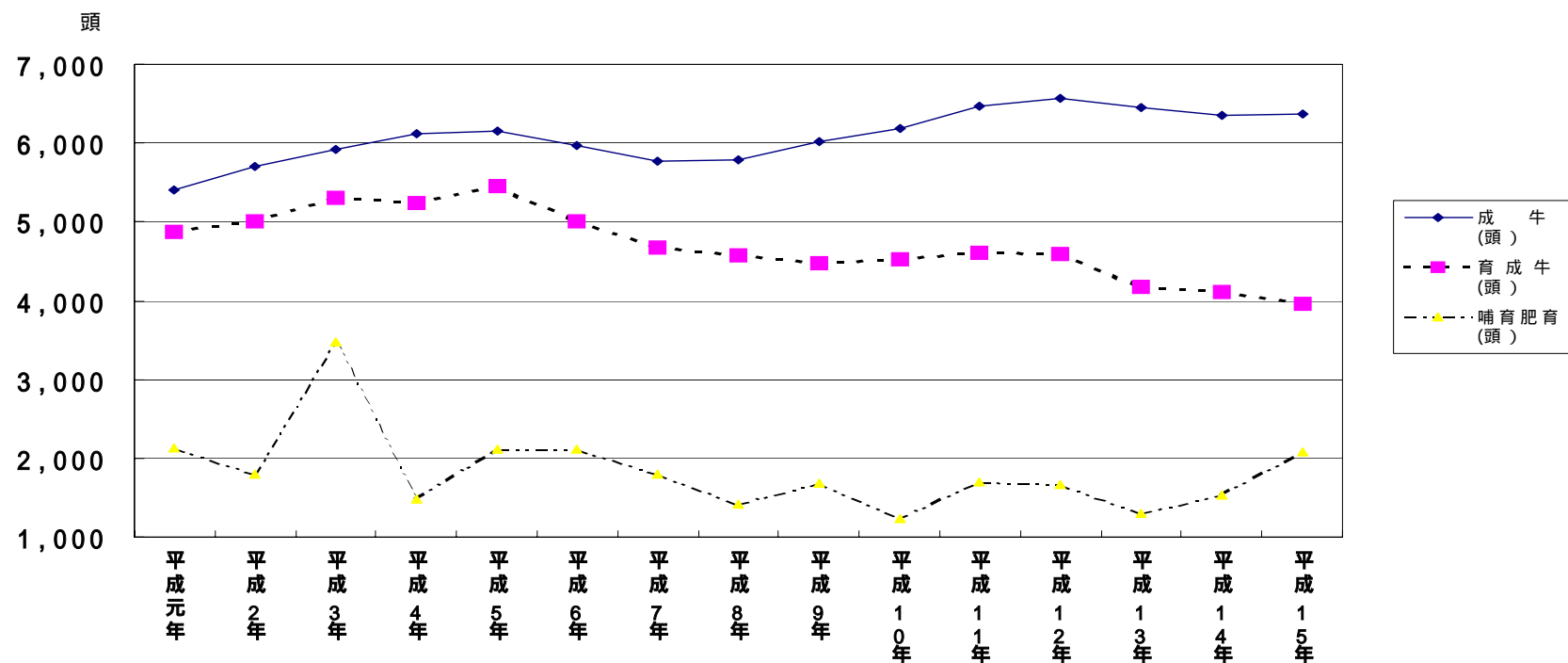
オコッペフィードサービス



酪農家戸数と生産量の推移

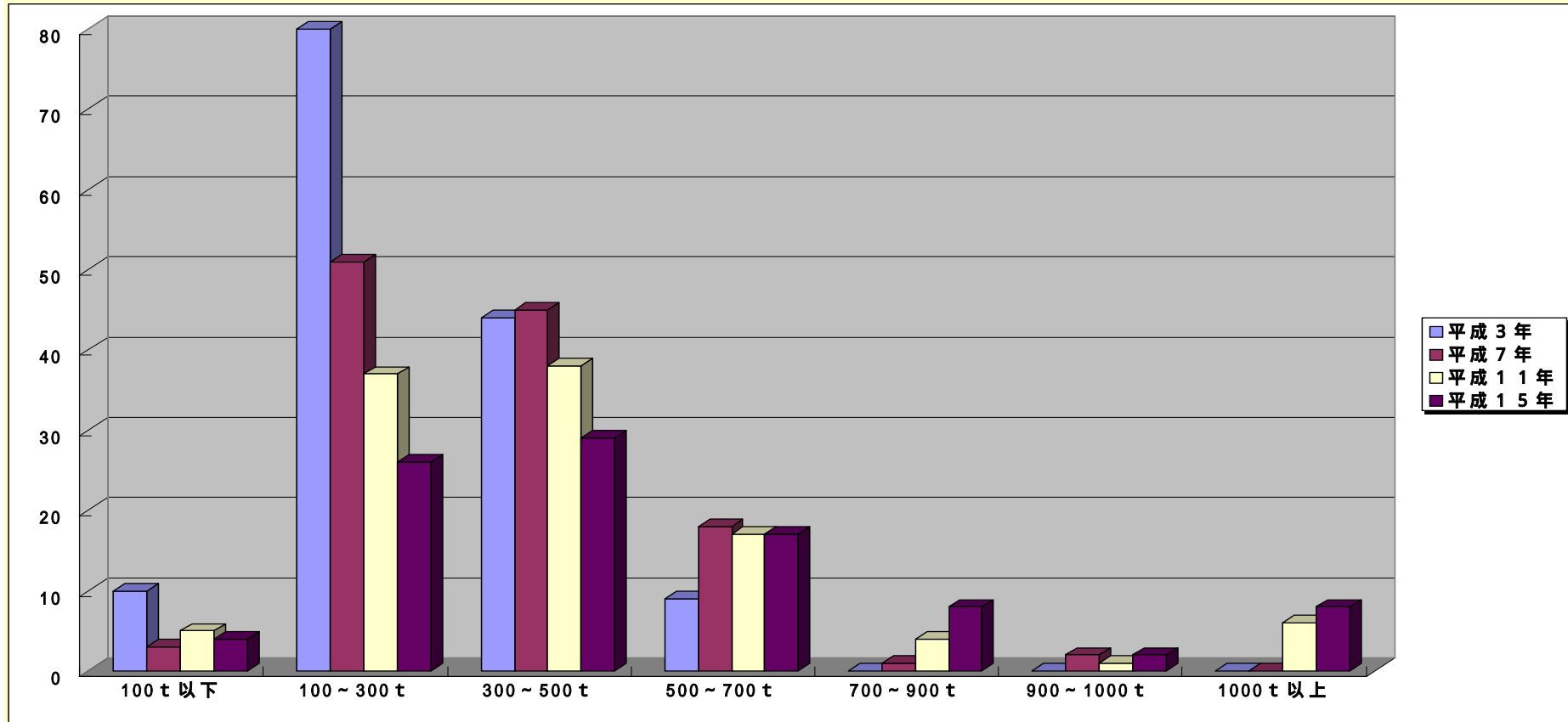


家畜飼養頭数の推移



区分	平成3年	平成7年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年
成牛(頭)	5,921	5,771	6,475	6,571	6,458	6,353	6,375
育成牛(頭)	5,300	4,671	4,606	4,585	4,181	4,107	3,965
乳牛合計(頭)	11,221	10,442	11,081	11,156	10,639	10,460	10,340
哺育肥育(頭)	3,474	1,798	1,693	1,670	1,298	1,524	2,081
合計(頭)	14,695	12,240	12,774	12,826	11,937	11,984	12,421
生産乳量(t)	40,651	42,200	45,819	45,917	44,793	46,707	47,385
1頭当乳量(kg)	6,866	7,312	7,076	6,988	6,936	7,352	7,433

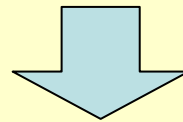
乳量階層別農家数の推移



	100 t 以下	100 ~ 300 t	300 ~ 500 t	500 ~ 700 t	700 ~ 900 t	900 ~ 1000 t	1000 t 以上	計	最高乳量
平成3年	10	80	44	9	0	0	0	143	598.5
平成7年	3	51	45	18	1	2	0	120	987.1
平成11年	5	37	38	17	4	1	6	108	1,551.5
平成15年	4	26	29	17	8	2	8	94	2,205.3

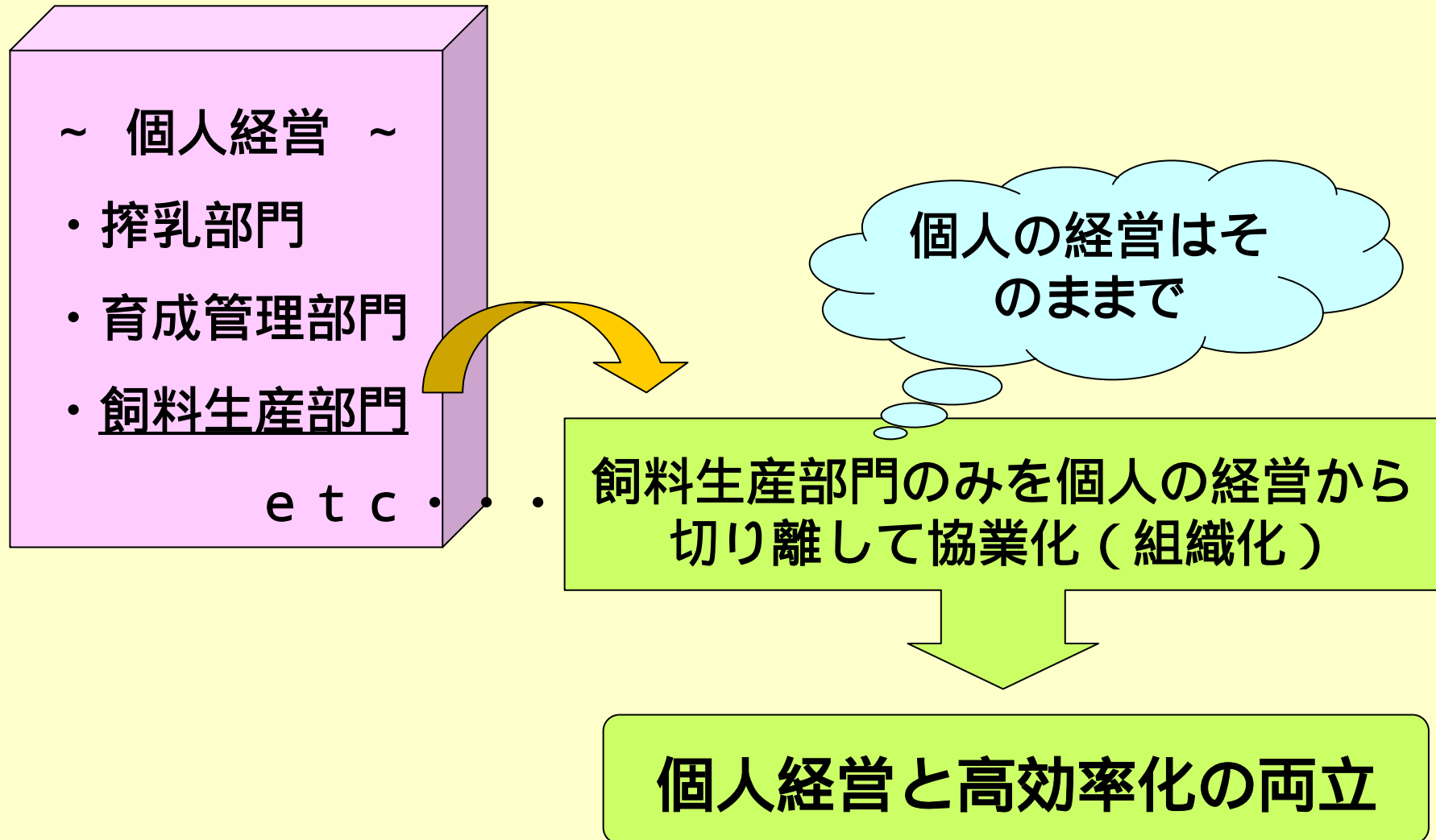
当時の問題点

- 1 一部で行っている共同作業体制では、各個人のサイレージ品質にばらつきがあり不平等感がある
- 2 飛び地が作業効率を悪くしている
- 3 農作業機械にかかる費用が大きな負担となっている
- 4 規模拡大に伴う大型機械や施設への投資が必要



従来の個人経営スタイルの限界

新しいシステム



新しいシステム

飼料生産部門のみを分離して協業化

構成員の不平等感を最小限にする！

草地に関わる全ての作業を共同で行う

1、構成員の全ての農地を借り受け一元管理

収穫作業だけでなく草地更新や肥培管理も全て組織で行う

2、大型機械・施設は組織で保有する

大型機械で作業を行い、収穫物は集合バンカーに貯蔵

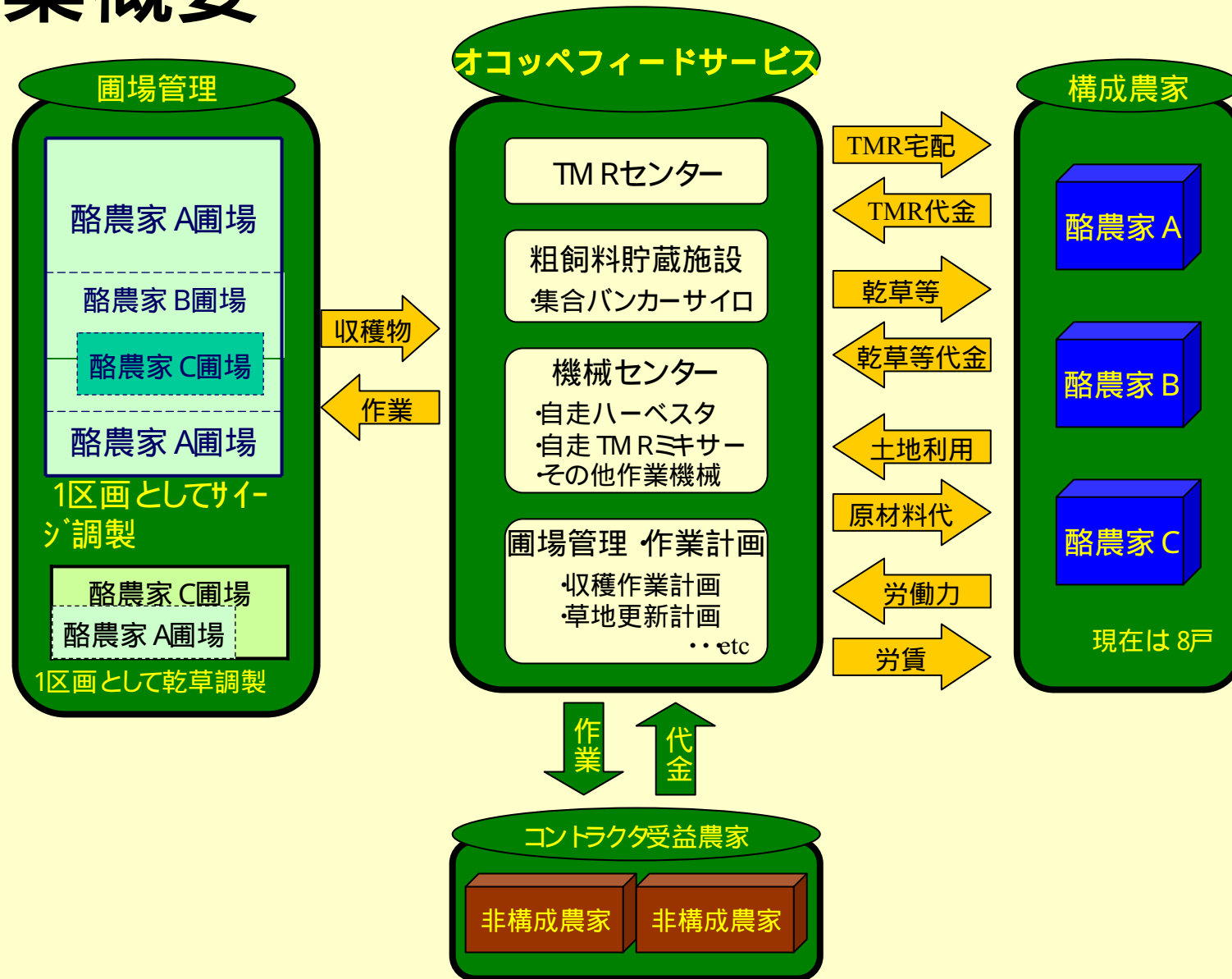
3、収穫した自給飼料は同一品質のものを構成員が買い取る

組織でプールし、TMR化して構成員に販売

4、不要な機械は処分し個人の所有機械を最小限に

個人のトラクタ・機械類の買上げ

事業概要



家族経営を基礎として、協業組織において大型高性能機械を使い作業効率を追求した

組織図

有限会社オコッペフィードサービスの組織体制

役員会 (役員 5名)

代 表

経理事務担当

パート1名

機械管理担当

従業員2名
(うち後継者2名)

作業担当

従業員1名
(構成員)

TMR担当

従業員3名
(うち後継者1名
雇ユーザー2名)

構成農家の経営概要

農家 No.	乳牛（頭）			肉牛 （頭）	経営耕地面積（ha）						合計
	経産	育成	計		採草地		放牧地		飼料畑		
					所有	借入	所有	借入	所有	借入	
1	115	54	169	-	60.3	12.2	3	-		1.9	77.4
2	70	38	108	-	35.4	2.3	-	-	11.9	-	49.6
3	70	45	115	-	27.7	11.9	-	-	3.3	2.4	45.3
4	70	42	112	-	59.6	-	3.9	-	-	-	63.5
5	60	38	98	-	48.1	3.8	-	-	7.9	-	59.8
6	47	28	75	-	37.6	3.7	7.1	-		5.2	53.6
7	46	15	61	74	36.7	3.4	3.6	-	9.5	-	53.2
8	47	33	80	-	33.4	17.7		-	5.0	-	56.1
9	65	50	115	-	22.8	20.8	1.5	-	7.7	-	52.8
平均	66	38	104	74	40.2	9.5	3.8	-	7.6	3.2	56.8

注）平成15年度末飼養頭数及び経営耕地面積である。

オコツペフィードサービスの成果



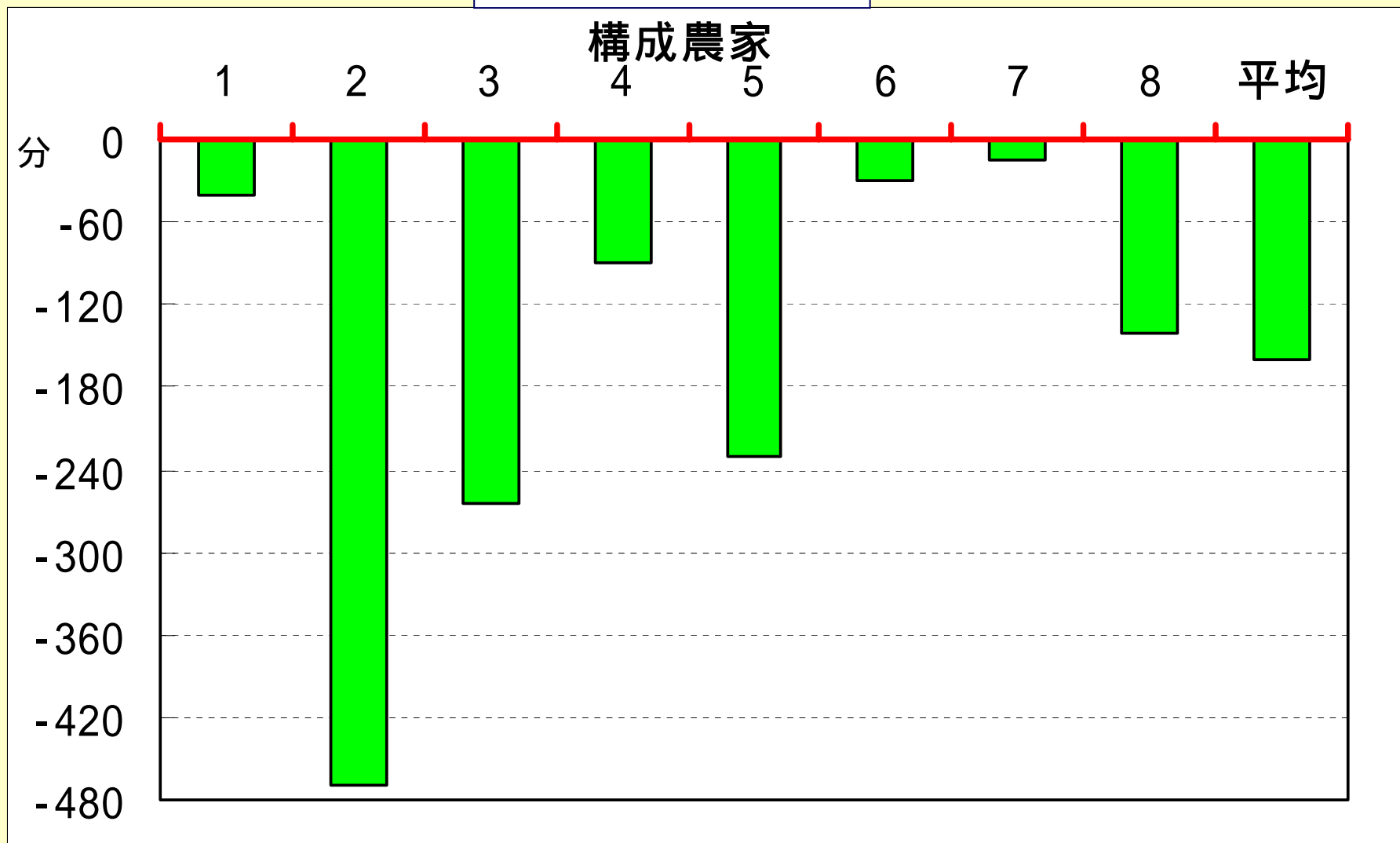
作業時間の変化

農家	サレージ取り出し	飼料調合	給与	小計	OFS参加後の給与時間	短縮時間
				時間分		時間分
1	1人×50分 =50分	1回	1人×10分×2回=20分	1:10	1人×15分×2回=30分	:40
2	1人×90分×1回=90分	—	2人×110分×2回=440分	8:50	1人×30分×2回=60分	7:50
3	1人×30分×1回=30分	—	250分	4:40	1人×15分×1回=15分	4:25
4	1人×90分×1回=90分	—	1人×60分×2回=120分	3:30	1人(90分,30分)=120分	1:30
5	20分×2回=40分	1人×150分	1人×60分×2回=120分	5:10	1人×40分×2回=80分	3:50
6	1人×50分×1回=50分	10分	1人×50分×1回=50分	1:50	1人×40分×2回=80分	:30
7	1人×30分×2回=60分	15分	10分×2回=20分	1:35	2人×10分×4回=80分	:15
8	1人×20分×1回=20分	—	2人×40分×2回=160分	3:00	2人(15分,5分)×2回=40分	2:20
平均				3:43		2:40

農政委員会資料

作業時間の変化

短縮された作業時間

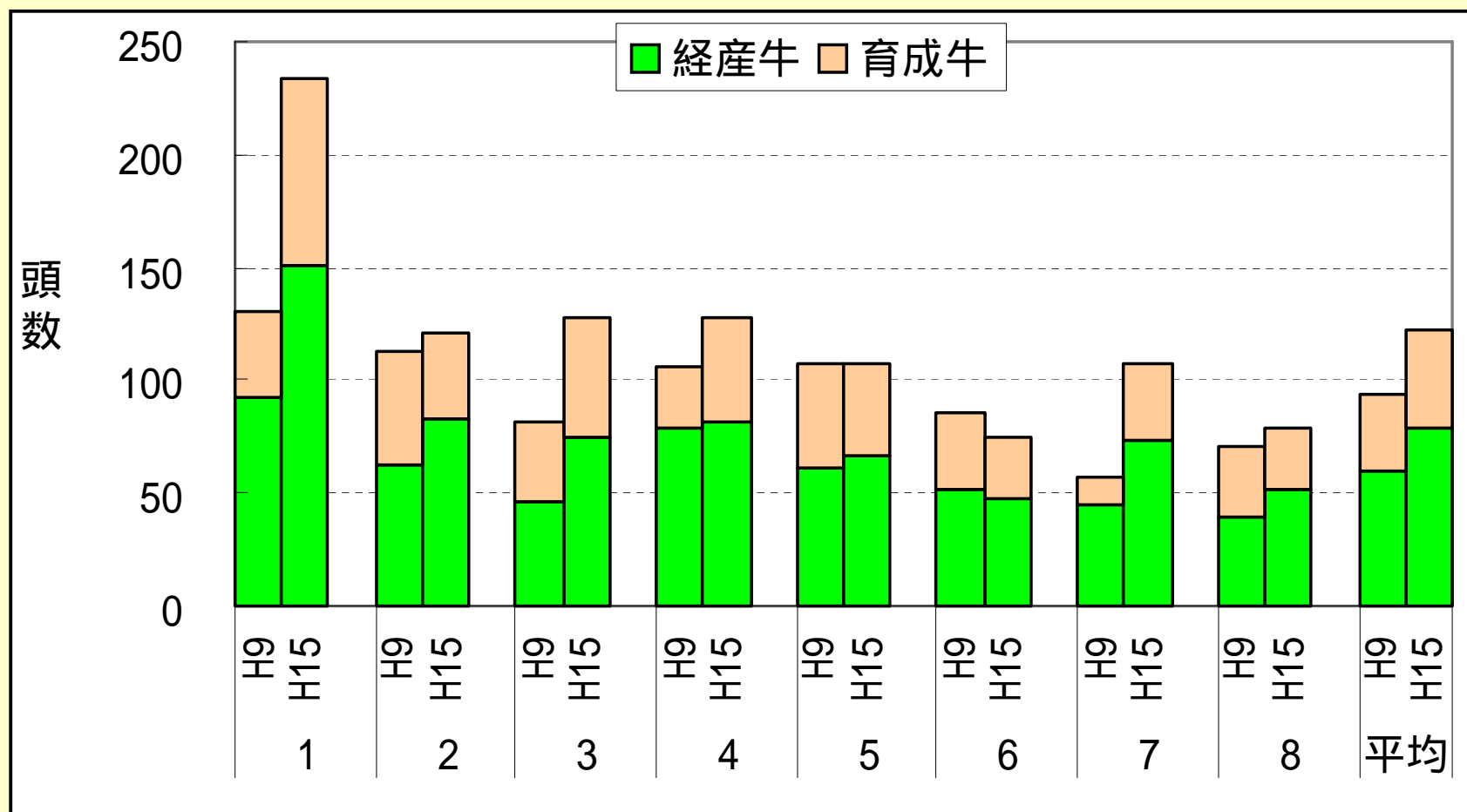


頭数、出荷乳量の変化

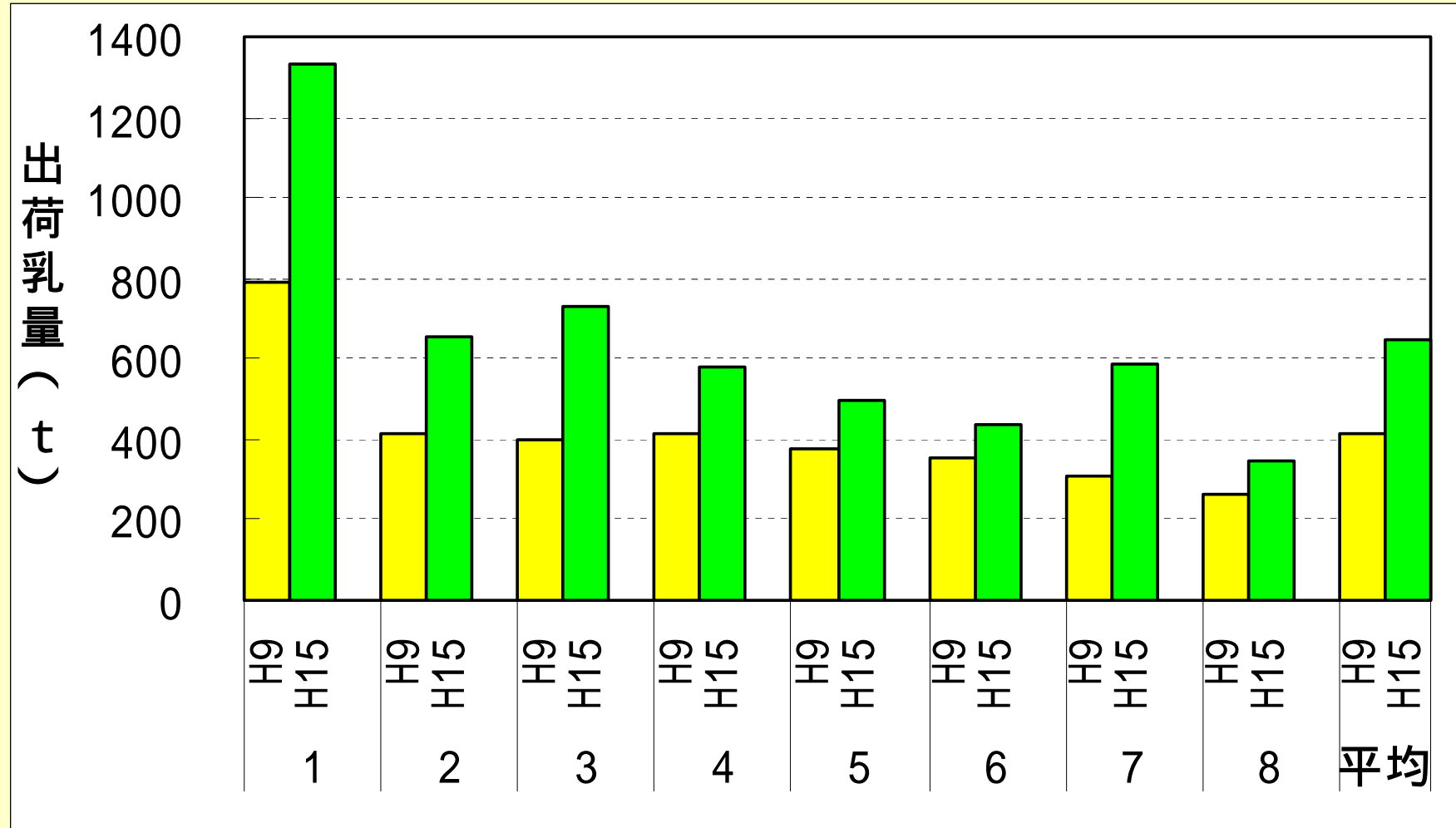
農家	年	経産牛	育成牛	合計
1	H 9	93	38	131
	H15	151	83	234
2	H 9	63	50	113
	H15	83	38	121
3	H 9	46	36	82
	H15	75	53	128
4	H 9	79	27	106
	H15	81	47	128
5	H 9	61	47	108
	H15	67	40	107
6	H 9	51	35	86
	H15	47	28	75
7	H 9	45	12	57
	H15	74	33	107
8	H 9	40	30	70
	H15	52	27	79
平均	H 9	60	34	94
	H15	79	44	122
	率	131.8	126.9	130.0

農家	年	出荷乳量 (t)	経産牛 1頭 当たり乳量 (kg)	乳脂肪率 (%)
1	H 9	792	9,317	4.10
	H15	1333	8,828	4.20
2	H 9	416	6,817	3.90
	H15	657	7,916	4.20
3	H 9	401	9,106	4.20
	H15	728	9,707	4.30
4	H 9	411	6,330	3.80
	H15	578	7,136	4.00
5	H 9	380	6,234	3.90
	H15	498	7,433	4.00
6	H 9	357	7,277	3.60
	H15	435	9,255	4.00
7	H 9	311	6,913	4.20
	H15	589	7,959	4.00
8	H 9	264	6,600	3.80
	H15	346	6,654	4.10
平均	H 9	417	7,324	3.94
	H15	646	8,111	4.10
	率 (%)	155.0	110.7	104.1

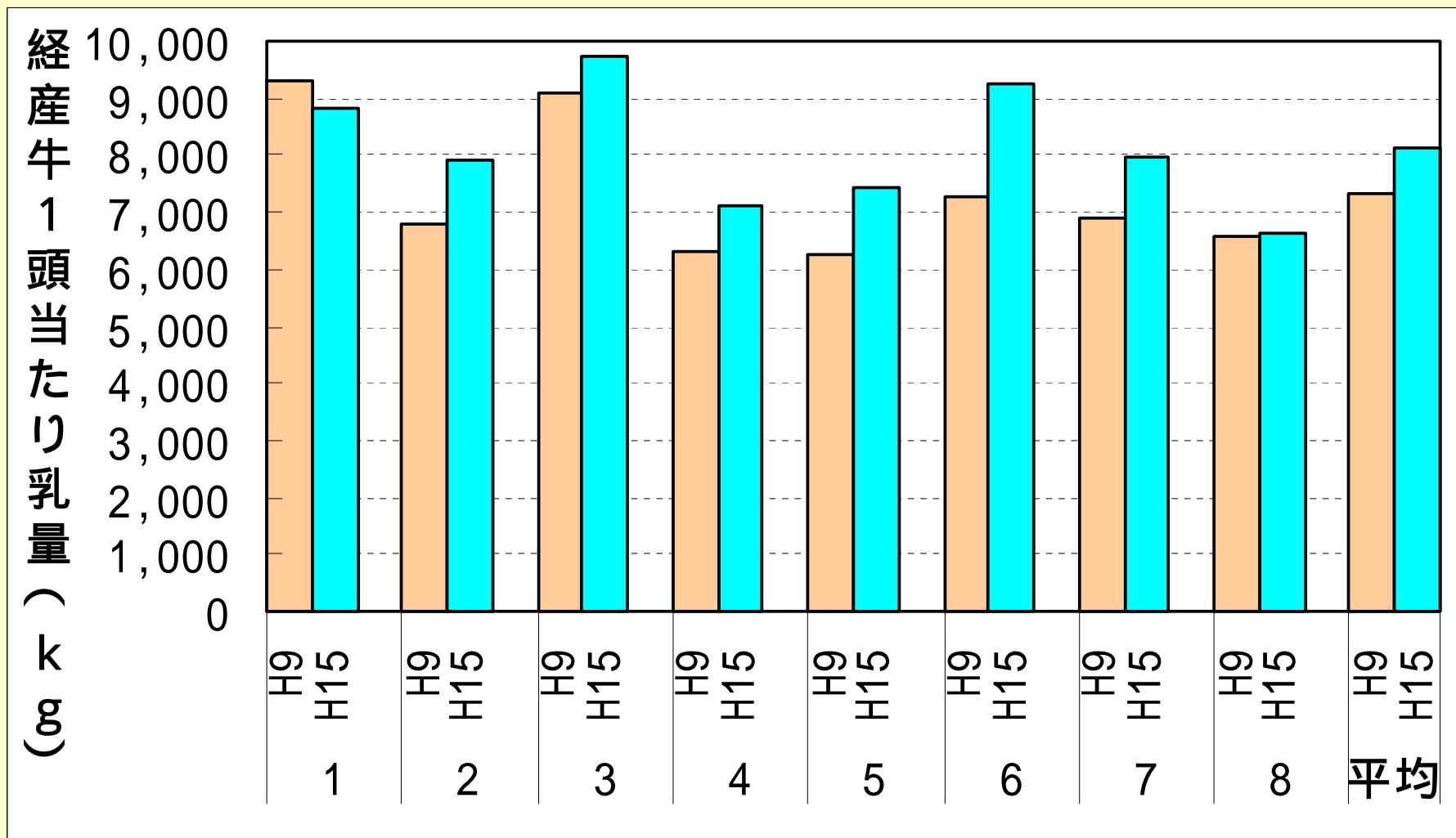
乳牛頭数の変化 (平成 9年 15年)



出荷乳量の変化 (平成 9年 15年)



経産牛 1頭当たり乳量の変化 (平成 9年 15年)



所得の推移

万円

		8戸平均	
		H9	H15
農業粗収入		4,076	6,283
農業 経営 費	租税公課	131	234
	飼料費	1,417	2,742
	肥料費	108	8
	農薬衛生費	92	191
	諸材料費	94	41
	修繕費	267	204
	動力光熱費	184	203
	農業共済掛金	161	200
	減価償却費	717	771
	荷造運賃手数料	176	244
	利子割引料	158	154
	地代・賃借料	211	74
	種付費	82	107
	その他	329	709
	小計	4,127	5,882
	育成費用	342	388
差引合計	3,785	5,494	
所得		291	788

所有機械と処分機械

		OFS	1	2	3	4	5	6	7	合計
自走機	トラクター	2(1)	4(3)	4(3)	3(1)	3(2)	3(2)	3	3(1)	23(12)
	自走式ハ - ベスタ	1								
	自走式 ミキシングカー	1								
	ファームダンプ	4	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	7(7)
飼料収種調整	シヨベル	0(1)								
	ヘーバイン	0	1(1)							1(1)
	ディスクモアー		1(1)							1(1)
	ディスクバイン	3(2)	2(2)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	8(8)
	テッター	3	2(2)	2(2)	2(2)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	10(10)
	レーキ	3	2(2)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	8(8)
	ロールベアラ	2	2(2)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	8(8)
	スア－サー	1								
	ラッピングマシン	2	1(1)	1(1)	1(1)	1(共同)	1(1)	1(1)	1(1)	7(7)
	ロールグリッパー	0	1	1	1	1	1	1	2(1)	8(1)
	Fハーベスタ	0		1(1)	1(1)		1(1)		1(1)	4(4)
	フロアーコンベアー	0			1(1)		1(1)			2(2)
	コーンハーベスタ	0		1(1)			1(1)			2(2)
	Fフロアー	0		1(1)	1(1)			1(1)		3(3)
	ダンプトレーラー	1								
	テッピングワゴン	1		1(1)	1(共同)	1(共同)	1(1)		1(1)	4(4)
	ビッグベアラ	0			1(共同)	1(共同)	1(共同)			1(共同)
砕土整地・播種管理	ブラウ	0	1(1)					1(1)		2(2)
	ツインビルダー	1								
	ディスクハロー	0			1(共同)	1(共同)	1(共同)			1(共同)
	パワーハロー	2	1(1)					1(1)		2(2)
	鎮圧ローラー	0	1(1)		1(共同)	1(共同)	1(共同)	1(共同)	1(1)	3(2)
	ブロードキャスター	4	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	7(7)
	スプレアー	0	1(1)	1(1)	1(共同)	1(共同)	1(共同)	1(1)	1(1)	5(4)
	コーンプランター	1		1(1)			1(1)			2(2)
	グラスシーダー	0	1		1(共同)	1(共同)	1(共同)			2(0)
	カルチベーター	0								
	サブソイラ	0				1(共同)	1(共同)	1(共同)		1(共同)
	ライムソアー	0	1(1)		1(共同)			1(共同)	1(1)	4(2)
	ライムワゴン	1								
糞尿処理	Nスプレッター	6	1(1)	1(1)		1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	6(6)
	バキュームカー	2	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)		1(1)	6(6)
	スカベンジャー	1			1(1)					1(1)
	スラリタンカー	1						1(1)		1(1)
	フロントローダー	1	2(1)	2(1)	2(1)	2(1)	2(1)	3	2(1)	15(6)
給餌	自走式 ミキシングカー	1								
	牽引式 ミキシング				1(1)		1(1)		1(1)	3(3)
	運搬車	1			1(共同)	1(共同)				1(1)
	サイレージカッター								1(1)	1(1)
合計		46(4)	28(24)	23(21)	20(16)	14(11)	20(18)	20(13)	23(19)	160(124)

注 :OFSの ()はリース、以外は所有。個人の数字は平成9年の台数。 ()内は処分台数。

経営効果の背景

粗飼料の共有化と公平な分配が実現し、TMRがこれを可能にした。

酪農経営は個々に継続しており、経営意欲の発揮の場がある。

圃場を一元管理することによってサイレージ収穫調製期間が大幅に短縮し、粗飼料の質・量の向上と安定が実現し、出荷乳量が増加した。

員外の作業を受託し、町内酪農経営に貢献。

地域の雇用促進に貢献



TMR受入れ庫



OF Sの仲間



興部町におけるコントラクターの育成と実績



地域内の現状と課題

個別体制での飼料収穫作業は労働力、機械の老朽化により適期に収穫することが難しくなっている。

既存の共同組織、受託組織での新たな受託は人員体制、機械体制の面から難しい状況にある。

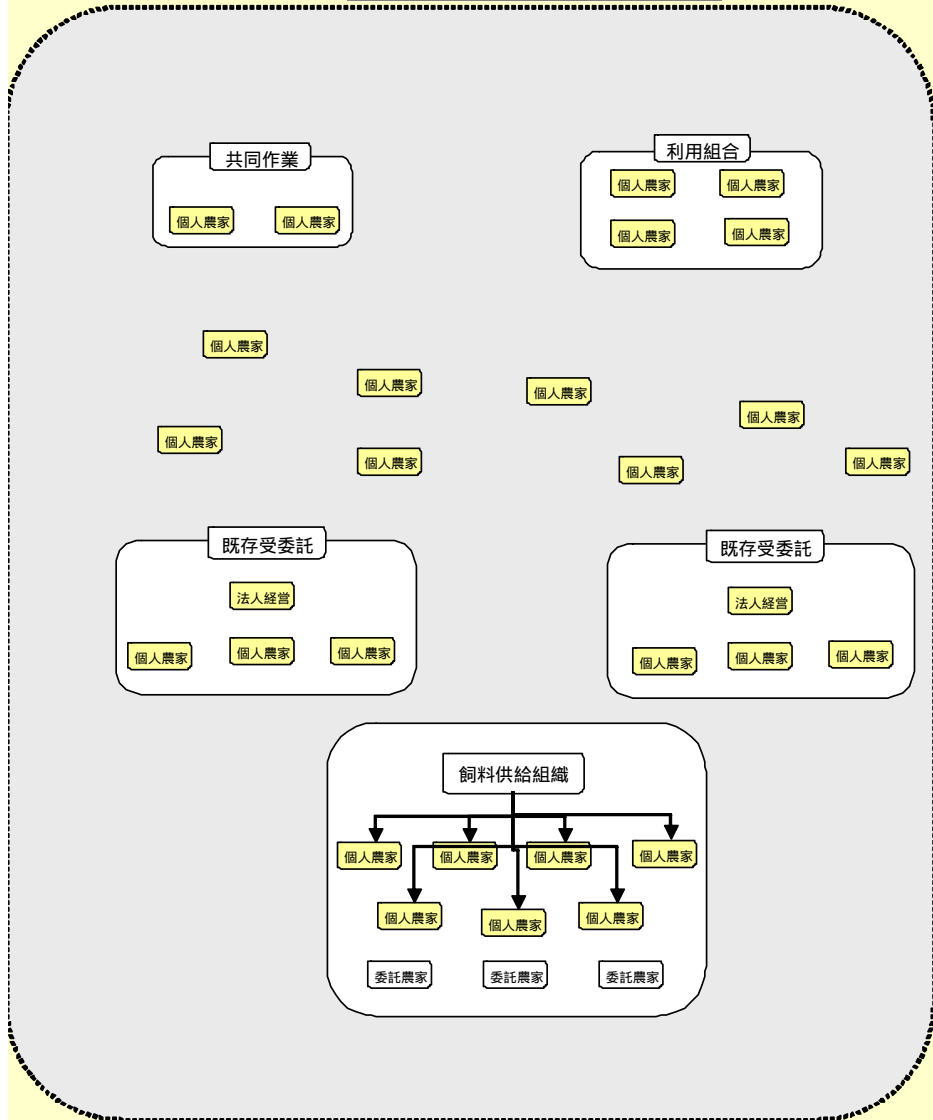
既存組織間でも機械稼働体制、共同・受託面積が違い、その機械作業効率にも差があり、作業料金体系も異なる。

機械故障時における協力体制が確立していないため、時間的なロスが大きい。

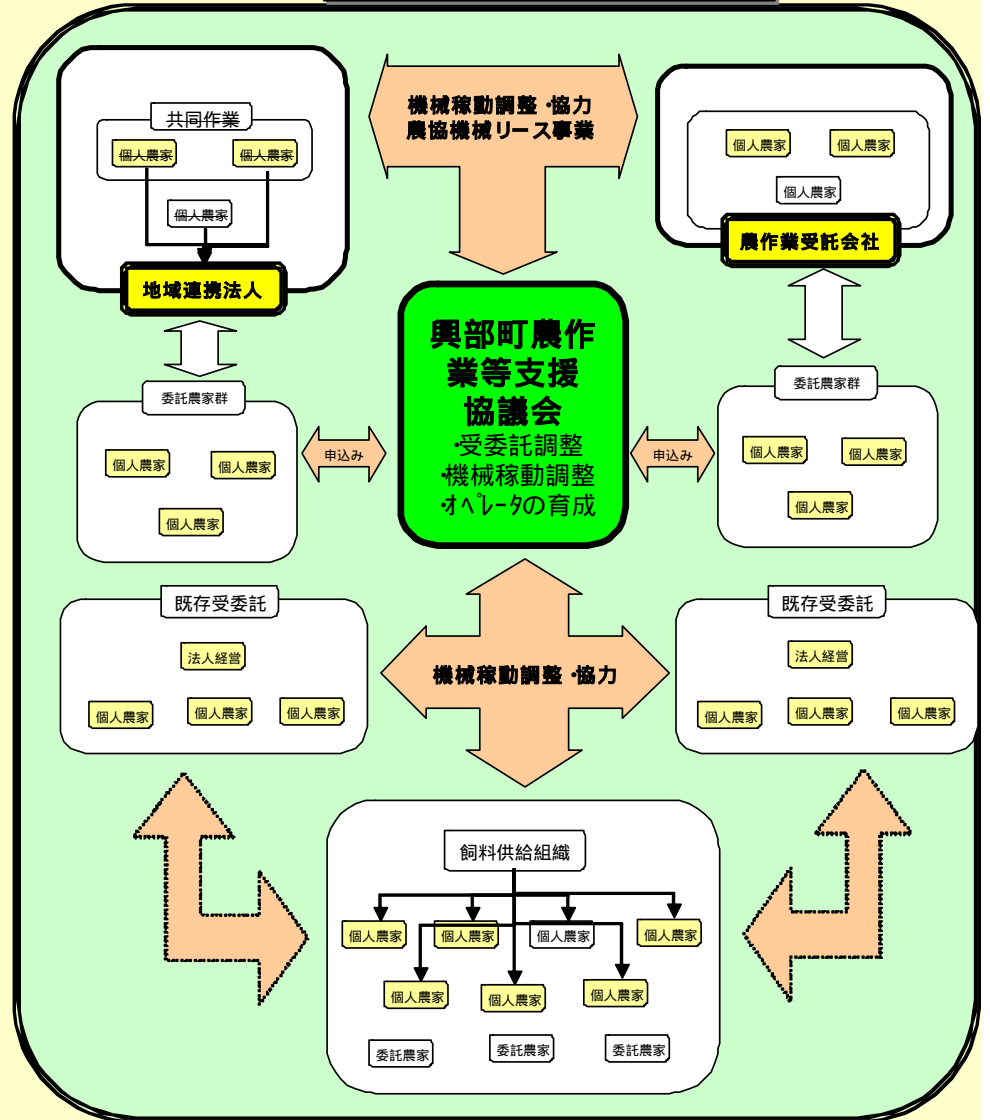
高能率の機械導入に多額の資本、資金が必要となるため、農作業の受託組織として新たな組織が設立されない状況にある。

農作業受委託支援構想

農作業受委託の現状



経営構造対策事業の展開



興部町内の受託実績

平成15年						平成16年					
組織形態	区分(戸)		飼料作物(ha)			組織形態	区分(戸)		飼料作物		
			牧草	青刈 トウモロコシ	計				牧草	青刈 トウモロコシ	計
機械利用組合(4)	構成員	1	42.7		42.7	農作業受託会社	構成員	3	120.0		120.0
個人	個人	1	63.1		63.1		受託	8	194.2		194.2
個人	個人	1	56.9		56.9		計	11	314.2		314.2
		3	162.7		162.7						
個人	個人	1	52.3		52.3	地域連携型生産法人	構成員	3	187.9		187.9
共同作業(2)	個人	1	63.6		63.6		受託	5	188.5	10.0	198.5
共同作業(2)	個人	1	71.7		71.7		計	8	376.4	10.0	386.4
			187.6		187.6						
飼料供給組織	構成員	9	428.1	30.0	458.1	飼料供給組織	構成員	9	437.4	54.8	492.2
	受託	6	133.5	12.5	146.0		受託	2	30.0	5.0	35.0
	計	15	561.6	42.5	604.1		計	11	467.4	59.8	527.2
作業受託法人	1戸1法人	1	75.7	25.0	100.7	作業受託法人	1戸1法人	1	95.0	25.0	120.0
	受託	8	291.7	46.0	337.7		受託	10	300.0	25.0	325.0
	計	9	367.4		438.4		計	11	395.0		445.0
作業受託法人	1戸1法人	1	141.1		141.1	作業受託法人	1戸1法人	1	141.1		141.1
	受託	1	74.4		74.4		受託	1	74.4		74.4
	計	2	215.5		215.5		計	2	215.5		215.5
受託合計		15	499.6	58.5	558.1	受託合計		26	787.1	40.0	827.1

経営の合理化を図る支援組織の 拡充強化を進める

ふん尿散布に係るコントラ事業

哺育・育成の地域システムの構築

